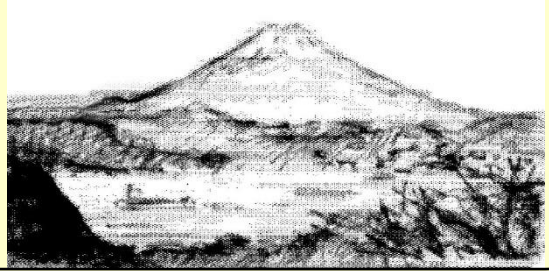


かけはし

昭島市立富士見丘小学校
校長だより No. 12

令和3年4月26日
稲垣 達也



令和3年度 学校経営方針

人とつながる 言葉でつながる 心がつながる

1 基本理念 子供を大切にするように、教職員を大切にしたい学校でありたい。

ハートフル富士見丘！ 子供は未来の守護者

教育理念

- 1 子供は、未来の守護者。子供は、未来からの留学生。
- 2 教育は、未来からの負託を受けた極めて責任のある仕事である。
- 3 職員は、仕事に自ら付加価値を付けてこそプロである。



人類の未来を創造し、未来を守るのは、今の子供たちです。その子供たちを育てる学校教育は、未来を創る仕事とも言えます。つまり、教育は未来からの負託です。私たちは子供たち一人一人の人格を尊重し、未来社会を担える人材を育てる責務を全力で全うしていきます。

2 基本方針

結果に責任をもつ

70年の歴史と伝統のある学校として、以下の3点を約束します

1 『安全・安心』 学校は「安全」で「安心」できる場であること

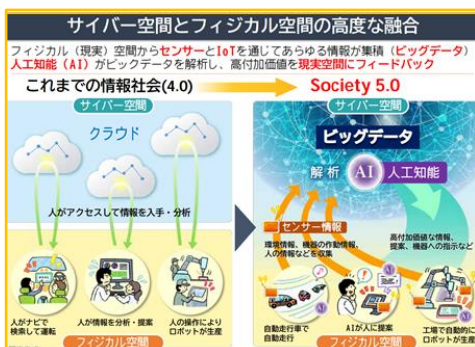
「一人に一つ」のかけがえのない命を守ることは、学校の最大の責務です。危険予知、危機管理、安全配慮に全力を尽くし、子供たちの安全を学校生活の全てに優先させます。そして、いじめや体罰などの人権侵害を許さず、誰もが安心して過ごすことのできる学校風土を築きます。

2 『ワクワクする授業』 授業が楽しい、学校が大好き、学校に行きたい

学校の判断基準は、「子供にとってどうか」です。子供にとってよりよい教育を行うのが学校です。子供一人一人を大切にし、一人一人を生かしていきます。そして、子供が主体的に学び・考え、成長し続ける力を付けることで、「学校が楽しい。学校に行きたい。」につなげます。

3 『未来を創造する子』 Society5.0 時代を主体的に生き抜く

予測できない変化を受け止め、正面から向き合い、主体的に関わろうとする子供。AIには代替できない創造性を発揮する子供。未知の課題を思索し、協働して新たな価値観や行動を生み出し、豊かで活力ある未来を創造する子供。そんな新たな時代を担う人材を育成します。



“誰一人取り残さない”
持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現のため、2030年を年限とする17の国際目標『SDGs』が定められています。本校では様々なSDGsへの取組を通じてSociety5.0時代を生きる「未来の守護者」を育



3 今年度の重点施策

～ 新しい時代を築く「未来の守護者」たち ～

今年度のキーワードは『“対話”と“協働”』です。とりわけ、コロナ渦により、社会が切り離される中、人と人との『つながり』を重視します。子供たち同士、教員と子供、学校と家庭・地域、それぞれが本音で語り合える、風通しの良い雰囲気をつくっていきます。

子供にとっては、**学びの基盤である「言語能力」「情報活用能力」「探究力」の育成とともに、それを支える認知能力を高め**、自己有用感の醸成を目指します。教員は、言葉を通して相互理解を図ることで、子供たちにとって親しみやすく、心を開いて相談できる存在になり、子供たちを守ります。学校は、家庭や地域に対し、開かれた教育課程の実現を目指し、説明責任を果たし、あらゆる『つながり』を密にします。そして、すべての大人が協働し、全力で、「自分を信じ、友を信じ、信頼できる社会を切り拓き、創造していく」子供たちを育てて参ります。

対話と協働

情報教育の充実

- ICT環境を充実させ、情報活用能力・プログラミング的思考を育成するとともに、「わかった」「できた」が実感できる授業を推進する。

言語活動の充実

- 専門家を招聘し、図書館を中核とした言語活動を充実させ、各教科の学びを深めるとともに、「書くこと」を中心に言語能力を育成する。

一人に一つの命を

守る

多様な人々が

つながる

未来社会を

切り拓く

1人1台の端末の有効活用
デジタル教科書の有効活用
ICTを活用した授業改善

心豊かに感性を磨く読書
全教科で学校図書館を活用
短作文、感想文、調べ学習

カリキュラム・マネジメントを確立し、効果的に教育の質を向上させます。

主体的・対話的で深い学びの視点で、「どのように学ぶか」を重視します。

総合的な学習の時間の改善
探究的な見方・考え方
未知の課題に対峙する力

学級満足度調査・コグトレ
認知、感情統制、対人スキル
やり抜く力、辛抱する力

探究活動の充実

- 「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深くかかわり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成したり、創造したりする。

特別支援教育の充実

- さくら、きこえとことば、大空の強みを生かし、学級満足度調査・コグトレを効果的に活用し、一人一人の児童に全教員が深く関わります。

他にも様々な重点課題に取り組んでいきます。

目指すのは

「社会に開かれた教育課程」の実現

梵事徹底とは、革新的なことや特別のことではなく、目の前の課題をしっかりと捉えて「やるべきことを、当たり前のことを、徹底してやること」です。

当たり前のことを徹底してやり抜くことで、富士見丘小学校の新たな歴史を創造して参ります。

臨時休校に対応する
柔軟な教育課程

教育の質を高める
働き方改革の具現

学び続ける教職員
職員研修の充実

開かれた学校づくり
学校HPの充実

梵事徹底
誰でもできる平凡なことを
誰かができないくらい
徹底して続けること
徹底して続けること
それ自体が非凡となる
小さなことを
積み重ねてこそ成功

4 令和3年度 学校経営・教育課程の具体

必ず達成する基本方針

信頼される教育の確立

学校の組織力
 ○全職員参加による経営参画
 分掌⇔企画会議⇔職員会議
 ○各自の役割分担の明確化
 推進計画⇔自己申告⇔具現化
 ○**共同担任制**でビジョンを共有
 一つの学級を複数の教員が担当

カリキュラム・マネジメント
 ○探求的な学びの構築
 「総合的な学習の時間」の再構築
 ○指導計画の作成
 教科等の有機的な関連を図る
 ○弾力的で効果的な編成
 創意工夫を生かした指導計画

安全・安心の保証
 ○感染防止の徹底
 学校・家庭・地域が一体的に
 ○危機管理の徹底
 危機管理マニュアルの共有
 ○安全教育の充実
 SNS 東京ノート、防災ノート等

「社会に開かれた教育課程」の実現
 ○学校・家庭・地域の連携・協働
 双方向の情報、議論を重ね、共通の目標を共有
 学校関係者評価の結果を教育課程の編成に反映

「共にある教育」の実現
 ○相互補完的に協働
 互いに当事者となり、未来の学校の姿を見据えて、
 学校・保護者・地域・関係機関と“共にある教育”

確かな学力の着目・重点

指導形態・学習習慣
 ○主体的・対話的で深い学び
 個→集団→個の授業スタイル
 ○新たな価値を創造する力
 答えのない課題に納得解を導く
 ○家庭の学習習慣の確立
 学びのすすめ、自主学习ノート

ユニバーサルデザイン
 ○やさしい教室環境
 刺激量の調整、ルールの明確化
 ○やさしい学習環境
 第一義は、学ぶ楽しさの醸成
 ○やさしい授業 **富士見寺小屋(補習)**
 分かる板書・発問の技術向上

外部人材・ICT
 ○地域人材・専門家等の活用
 専門性を生かした教育を推進
 ○1人1台端末の活用
 個別最適化による授業改善
 ○大型テレビ・実物投影機の活用
 児童の思考のプロセスを共有

豊かな心の醸成

自己有用感
 ○学級満足度調査を生かした活動の充実
 児童による**人権集会**、いのちの授業、人権作文等
 ○一人で悩みを抱えない相談体制の充実
 児童が誰にでも相談できる**SOSカード**、一人を全員で

特別支援教育 **子育てサポートファイル**
 ○児童の社会性の育成 **コグトレ**
 認知、感情統制、対人スキル、やり抜く力、辛抱する力
 ○校内委員会・特別支援教室等の連携
 担任、指導教員、専門員、SC等との連携・協働

健やかな体の育成

豊かなスポーツライフ
 ○運動の習慣化・日常化
 元気アップがイブブックを活用した授業・体育朝会・外遊び
 ○心のバリアフリーの促進
 多彩なパラスポーツ体験等を通じた障害者理解

健康教育と食育
 ○新型コロナとの関わりから
 給食指導、保健指導等、これまでと在り方が異なる
 ○健康習慣、食習慣の定着
 専門家と連携した指導の充実、**グッドモーニング** 60分

輝く未来に向かって

校内研究・研修の重視
 探究学習 **探求ワークブック**
 ○未知の課題に対峙する力
 「思索する力」
 「納得解を生み出す力」
 「協働して解決する力」

言語活動 **短作文ノート**
 ○学校図書館の活用
 心豊かに、感性を磨く読書
 全教科で学校図書館を活用
 短作文、感想文、調べ学習

情報教育 **情報ガイドライン**
 ○論理的思考力の育成
 プログラミング的思考
 情報活用能力
 情報モラル

主体的に社会とつながる **キャリア・パスポート**
 ○児童が地域・社会・世界に向き合う
SDGsを念頭に、多彩な学びを計画的に展開

創造的な未来を切り開く
 ○コロナに対峙、未知の世界で生きる
 社会や未来の作り手としての資質・能力の育成

「働き方改革」の徹底 教育の質を向上させ、児童・教職員にとって魅力ある学校に！

最終退勤時間・定時退勤日・残業 45 時間(月)以内 年休取得 15 日以上 の促進

○野球型からサッカー型へ
 ○校務支援ソフトの活用

チームの協働性とスピード
 事務連絡・情報共有・自宅勤務

○各種会議の効率化
 ○デジタル化

開始・終了時刻の厳守
学校内外の紙文書の廃止

5 時間割の弾力的な編成

バランスよく、効果的な授業のために

“モジュール”って、何？

15分、60分、105分など、児童の発達段階や学習内容に応じて、**弾力的な時間割を組み、効果的な指導を行うこと**です。

本校では、15分間の単独のモジュールではなく、基本となる45分授業と連続する**〔45分+15分〕単位授業**として構成。

本校では、令和2年度から導入しています。

【授業時間設定に際しての留意点】新学習指導要領より

- 各教科等の特質を踏まえた検討を行うこと
- 内容や時間のまとまりの中に適切に位置付けること
- バランスの取れた資質・能力の育成に努めること
- 授業のねらいを明確にして実施すること
- 適切な教材を用いること

【例 え ば …】

授業時間をオーダーメイド

【45分+15分】単位授業

45分+15分の流れの中で、その日の授業をその日のうちに、定着を図る

〔算数〕単元学習 45分 + 計算の反復学習 15分
〔国語〕単元学習 45分 + 漢字の反復学習 15分

【60分】単位授業

〔理科〕実験や観察を伴う学習を、導入から結論まで完結する
〔体育〕用具準備から十分な運動量、振り返り時間まで確保する

【90分】単位授業

〔図工〕教材等の準備、指導時間、作業時間等、十分確保する
〔社会〕調べたことをグループで共有してまとめる時間を十分確保する

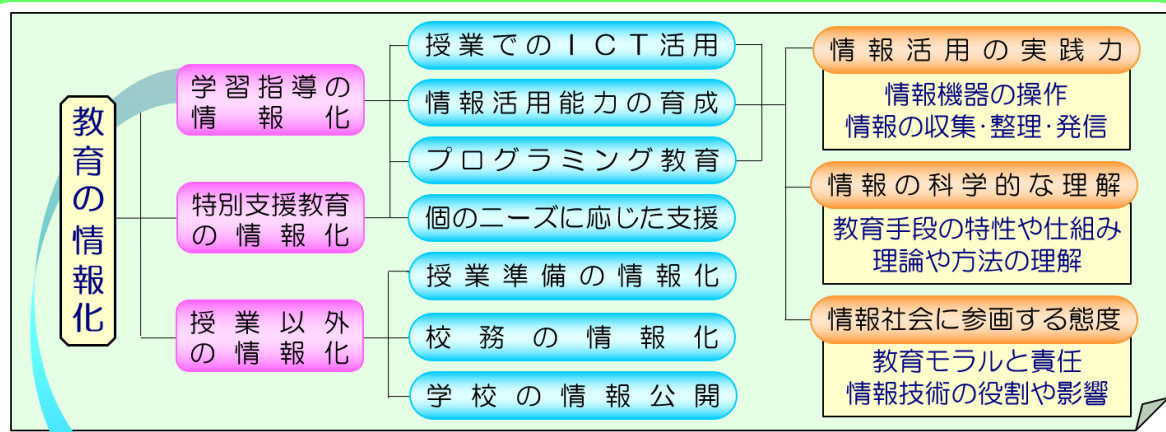
【105分】単位授業

〔生活〕草花の観察、記録、考察、情報共有、学び合い、振り返りまで、十分確保する
〔総合〕インタビューや調査研究、まとめ、話し合い等、まとまった時間で取り組む

令和3年度 生活時程表(週)

	月	火	水	木	金
	8:15 職員の出勤時刻 勤務開始				
8:15	8:15- 登校時刻 8:20 始業時刻				
8:20	全校朝会	朝学活	8:20- 児童集会	朝学活	
8:30	モジュール	コグトレ	8:35- 朝学活	短作文	モジュール
8:45	1	2	3	4	5
9:30	5分休み(授業準備)				
9:35	6	7	8	9	10
10:20	中休み(予鈴5分前)				
10:40	11	12	13	14	15
11:25	5分休み(授業準備)				
11:30	16	17	18	19	20
12:15	給食				
13:00	清掃	簡単清掃	清掃	清掃	
13:10	昼休み	低学年 下校13:15	昼休み	昼休み	
13:30	モジュール	モジュール	クラブ委員会	モジュール	モジュール
13:45	21	22		23	24
14:30	下校14:45	5分休み	高学年 下校14:45	5分休み	下校14:45
14:35	職員の諸会議等	25	職員の諸会議等	26	寺小屋
15:20		下校15:35		下校15:35	寺小屋下校15:35
15:35	15:35-16:20 職員の休憩時間				
16:20	16:20-16:45 職員の諸会議等 16:45 職員の退勤時刻 勤務終了				
16:45					

6 GIGAスクール構想による「教育の情報化」



ICTが授業を変える！
新しい学びのスタイルを形成

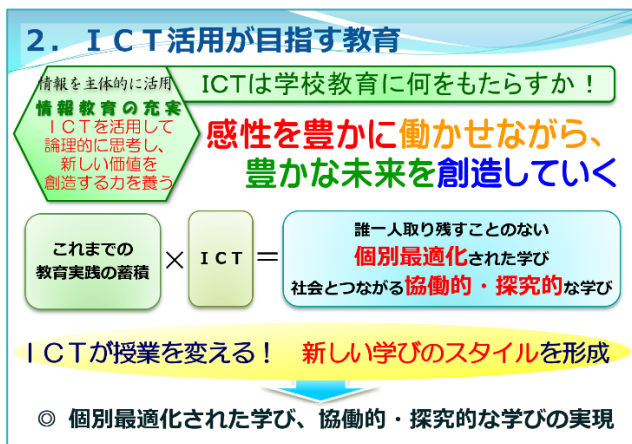
情報活用能力は、言語能力と同様に、
「学習の基盤となる資質・能力」である。

「確かな学力を向上させる授業」

- ① 発問や説明の言葉の吟味 子供に伝わり易い言葉、教師の意図が明確な言葉の工夫
- ② 構造的な板書の工夫 学習課題やまとめを明確にした学習経過や思考の流れの整理
- ③ 授業展開の改善 授業テンポ、説明・思考・習熟のバランス、効果的な場面で活用
- ④ ノート指導の徹底 板書の工夫と合わせた授業改善によるノート指導の工夫・改善

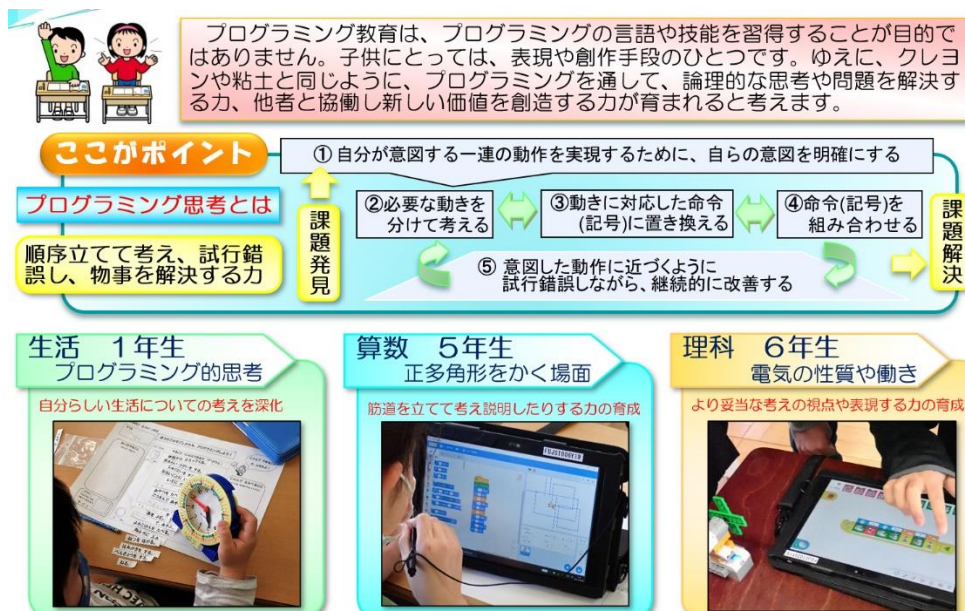
【ICT活用が目指す教育】

【ICT活用 本校の実践（令和2年度）】



【プログラミング教育のポイントと本校の実践（令和2年度）】

【GIGAスクール構想 スタート】



3月中旬に全学年児童が、自分の端末に、自分で ID とパスワードを入力し、初期設定を完了。画面に自分の名前が表示されて大喜び。



誰一人取り残さない… わかるまで！ できるまで！

放課後の個別指導教室 「ふじみ寺子屋」 始めます



※ 詳細は、保護者会にて説明します。

学 び の ポ イ ン ト

ふじみ寺小屋は、一人一人の学びの特性に特化した放課後の補習教室です。1年間の学びを通して、すべての児童の「わかった！」「できた！」を育み、自己肯定感を高めながら、学びに向かう力を養います。



小さな自信が、次の「やる気」、次の「わかった」「できた」につながっていきます。

東京ベーシック・ドリル診断シート

自信 「学びに向かう力」「意欲」「学び続ける力」の育成

学力

達成目標

理解が十分な児童 10%UP
更に理解を深めてほしい児童 50%UP
理解が不十分な児童 100%UP

喜び

東京ベーシック・ドリル「診断シート」A→B 正答率の達成目標例：Xさん 80%→90% Vさん 50%→80% Qさん 20%→50%

学習は継続性と習慣化することが大事です。そのため、**毎週1回(金)の放課後**、継続して実施しています。**学習時間の総量**を確保するとともに、**学習習慣の定着**を図ります。



授業が基本です。寺子屋だけ頑張っても、学力はつきません。家庭における復習や反復練習も大切です。本校では、**授業、寺子屋、家庭学習(宿題)**を結びつけて取り組みます。



2 Continuity
学習の継続性

3 Connection
学習の連続性

The need
必要性

4 Personality
指導の個別性

5 Specialty
指導の専門性

個に応じた指導が重要です。「個に応じた」とは、同じ問題ができないとしても、**どこでつまづいているか、何が理解できないかなど、個によって違いがある**ということです。児童理解と評価に基づいた個別指導を徹底します。

一斉指導＋オリジナル教材での個別指導

お子さんと相談の上、保護者の方が申し込んでください。教科や单元ごとに、習熟の程度により、**必要性の高い児童**を参加対象として担任が判断します。

平日 参加者：各学級5人以内
指導者：各学年2～3人
夏休：参加者：各学年10人以内

習熟度別指導や複数教員による指導を用いても基礎基本の習得が困難な児童に対して、専門性の高い指導が不可欠です。そのため、外部指導員やボランティアに頼ることなく、日常から児童を理解している**教員が中心的に指導します**。

指導体制：教員2～3人＋α

児童

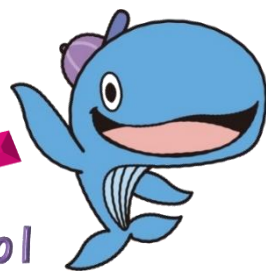
“**学びの特性**”は一人一人違います。マニュアル(同一の指導方法)は、通用しません。真の学力を付けるために、ドリル中心ではなく授業形式で、個別の問題・個別の指導方法で「わかるまで」「できるまで」指導します。**それが「ふじみ寺子屋」**です。



子供を支える

「できた！」が増え

ふじみのコグトレ



Cognitive Training at Fujimigakoa Elementary School

困っている子の背景

子供たちに「苦手なことは？」と聞くと、計算が苦手、漢字が読めない、図形が上手に写せない、覚えられない、手先が不器用、運動が苦手などなど、**どの子も苦手があります。**

共通することは、「見る力」「聞く力」「想像する力」の弱さ。そのため、聞き間違えたり、周りの状況が読めなかったり、対人関係で失敗したりして、**自尊心が傷つくことがあります。**

さらには、感情のコントロールができずにキレる、嫌なことを断れずに流される、人に助けを求められない、計画を立てられない、思いつきで行動する、力加減ができずに人に怪我をさせて

「学習面」「身体面」「社会面」の包括的支援

そこで

本校では、「見る力」「聞く力」「人とコミュニケーションをとる力」「感情をコントロールする力」「計画を立てる力」「体をうまく使う力」等を、トレーニングすることで、『認知機能の弱さ』『感情統制の弱さ』『融通の利かなさ』『不適切な自己評価』『対人スキルの乏しさ』『身体的不器用さ』を克服し、**学習の土台を作り、社会性を高めるためにコグトレを取り入れ**こととしました。

コグトレ

富士見丘小学校で
楽しく学ぶ
コグトレやります
毎週火曜日
朝8時30分～45分

学習面

認知機能強化
基礎学力の
土台作り

注意力をつけるトレーニング

覚える	短期記憶・文章理解	→ 記憶
数える	注意・集中力・処理速度	→ 言語理解
写す	視覚認知（模写・形の把握）	→ 注意
見つける	視覚認知（形の恒常性）	→ 知覚
想像する	論理的思考・関係性理解	→ 推論・判断

自己有用感を育む
社会性の醸成

身体面

認知作業
トレーニング
不器用さの
改善

社会面

認知ソーシャル
トレーニング
対人スキルの
向上

身体をうまく使う
トレーニング

自分の身体
物と自分の身体
人の身体と
自分の身体

感情をうまく
コントロールできる
トレーニング
感情
対人マナー
危険予知
問題解決



富士見小の 作文 チャレンジノート

書く力は、国語の学習のみで養われるものではなく、日常的に書くこと、書いたものを読み合うことを繰り返すことで、書くことに慣れ、書く力が付きま

短作文とは…

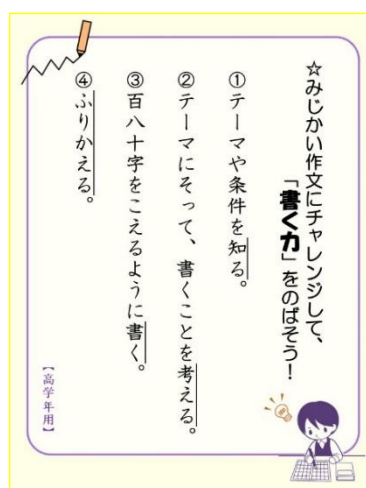
「作文チャレンジノート」を作りました。子供たちが書くことに慣れ、計画的に各技能を指導し、人にわかりやすく説明したり、作文したりする能力を育成します。

毎週木曜日 朝の15分間 年間40回程度

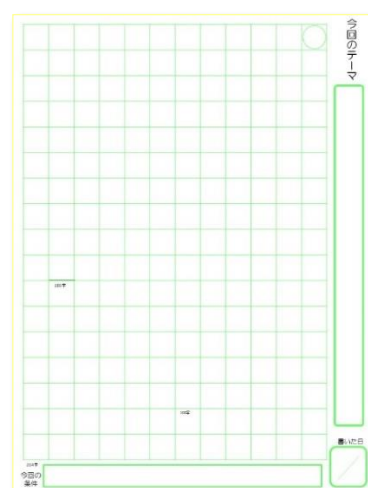
その日に提示されるテーマに沿って、書き綴ります。



〔低学年用 表紙〕



〔中学年用 書き方〕



〔高学年用 原稿〕



【取り組み手順】

- ① 担任が、今日のテーマと約束（条件）を提示する。
 - ② 1分間、テーマと条件をもとに構想を練る。
 - ③ 担任の合図で書き始める。10分間程度とする。
 - ④ 残り1分を知らせ、文書をまとめさせる。
 - ⑤ 時間内に必ず句点で終わらせるようにする。
 - ⑥ 担任の合図で作文をやめ、1分間で、文字数と使った漢字数を記録し、自己評価する。
 - ⑦ できるだけ次の日までに、認印やコメント等で評価する。
 - ⑧ 作文を読み合ったり、（提示した条件に合っている）作文を学級で紹介したりすることが効果的である。
- ※ 留意点 ・字の丁寧さや漢字の使用は強いしない。
・担任のほか、副担任も同様に指導に当たる。

図書ボランティア 募集！

皆様のご参加をお待ちしております

昨年度は、感染症拡大防止策のため、図書室を普通教室の代替えとして使用していましたが、昨年8月には、保護者の皆様に「蔵書点検」のお手伝いをいただき、あらためてお礼申し上げます。

この4月から元の図書室に戻しました。そして今年度からは、「図書室」を『学校図書館』として、環境整備とともに、学校図書館としての機能を果たせる教育課程を展開してまいります。子供たちが図書館に喜んで来館し、もっともっと本が好きになることを願っています。

そこで、今年度から下記の通り、『図書ボランティア』を募集します。学校図書館のお手伝いを一緒にしていただける方は、**まずは、ご登録願います。**

活動内容

各自の自由です。その都度、学校と相談しながら行います。たとえば …

- ・飾り付け
- ・図書の整理 など

活動日時

月2回程度、開催する予定です。

- ・都合がついた時間だけの参加でOK
- ・1年間で1回だけでもOK

活動の方法は？

学校図書館の専門家を、本校の学校図書館経営顧問として招聘します。

全国学校図書館協議会スーパーサイザー

藤田利江氏

がボランティア活動をサポートします。

都合が悪くなったら…

ボランティアは、個人の都合がいい時に、できることを、できる範囲で行うものです。参加予定日に急遽都合が悪くなった場合も、気兼ねなく休めるのがボランティアの鉄則です。

※ 参加希望予定の方は、4月16日（金）まで（以降、いつでも可）に、提出願います。

※  第1回 4月16日（金）10時～12時頃 } この間で、自由な時間帯で、
第2回 4月23日（金）14時～16時頃 } いつでも御参加ください。



令和元年 12月15日の状況



令和2年8月7日 蔵書点検



令和3年3月26日 引っ越し

昭島市立富士見丘小学校長 殿

「図書ボランティア」に登録します。

都合がつく時に参加しますので、よろしくお願い致します。

（アンケート） どのような活動を希望しますか。 で囲んで下さい。

- ・ 図書館の飾り付け
- ・ 図書の展示
- ・ 図書の整理
- ・ 図書の修理
- ・ その他やってみたいこと ()

令和3年 4月 日 (年 組) 保護者氏名